



数の暗黙知

昨日、2年2組の子供たちが、算数の授業で「かけ算の九九」の復習を一生懸命に頑張っていました。2年生の2学期は、「かけ算の九九」をしっかり身に付ける大切な時期です。7年前に、私が本校で2年3組の担任をしていたときも、「かけ算の九九」の指導にかなり力を入れたことを懐かしく思い出します。



さて、半年ほど前、「ドラゴン桜2」というテレビドラマが放映されていました。偏差値30の高校生たちが東大合格を目指すというストーリーでしたが、ご覧になられた方も多いのではないのでしょうか。このドラマはフィクションですが、その中で私が「これはその通りだ!」と思ったことがあります。それは、“小学校2年生までに「数の暗黙知」を身に付けることが大切だ”ということです。「暗黙知」とは、経験的に使っている知識のことで、一度身に付けてしまえば、特に考えなくても自然と使える知識や技能になります。例えば、自転車の乗り方は、一度身に付けば、その都度乗り方を考えなくても、また、何年経っても自転車に乗ることができます。計算も基礎となる「たし算」「ひき算」「かけ算」3種類の九九を「暗黙知」として身に付ければ、その後、計算で苦勞することがなくなります。その意味では、2年生という小学校の早い段階で「数の暗黙知」を習得することはとても重要であると思います。

私が2年3組の担任をしていた時、右のような「本読み計算」を、毎回、算数の授業の最初に行っていました。1学期は「たし算の九九」と「ひき算の九九」に、2学期後半からは「かけ算の九九」も加えてチャレンジしました。この地道な取組を継続した結果、私の学級の子供たちの計算の速さと正確性は確実に向上しました。

「本読み計算」は、2年生以外の学年でも有効です。計算が少し苦手だと思える場合は、3年生以上でも3種類の九九を「数の暗黙知」として習得できるように、努力を重ねてほしいと思います。

スーパー本読み計算(かけ算) 2年3組 番

あひるこーす スーパー本読み計算は、2分でいくつ言えるかにチャレンジするよ!

	1×1	2×6	3×2	4×7	5×3	6×8	7×4	8×9	9×5
	1×6	2×2	3×7	4×3	5×8	6×4	7×9	8×5	9×1
	1×2	2×7	3×3	4×8	5×4	6×9	7×5	8×1	9×6
	1×7	2×3	3×8	4×4	5×9	6×5	7×1	8×6	9×2
	1×3	2×8	3×4	4×9	5×5	6×1	7×6	8×2	9×7
	1×8	2×4	3×9	4×5	5×1	6×6	7×2	8×7	9×3
	1×4	2×9	3×5	4×1	5×6	6×2	7×7	8×3	9×8
	1×9	2×5	3×1	4×6	5×2	6×7	7×3	8×8	9×4
	1×5	2×1	3×6	4×2	5×7	6×3	7×8	8×4	9×9

うさぎこーす

▲私の学級で活用した「スーパー本読み計算」(かけ算)
81個の計算(九九)を、2分でいくつ言えるかにチャレンジします。解答する順番により、難易度が異なります。左上から縦方向で下に向かう「あひるこーす(初級)」、右下から縦方向で上に向かう「うさぎこーす(中級)」、左上から横方向で右に向かう「いるかこーす(上級)」、右下から横方向で左に向かう「えんぴつこーす(最上級)」の4つのコースがあります。